

〈雑報〉

平成二十六年年度

仏教文化研究所活動報告

【第一回 運営委員会】

日時 平成二十六年四月十七日（木）十二時二十分～十三時十分

場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）

議題

一、審議事項

- ① 平成二十六年年度事業計画について
- ② 平成二十六年年度公開シンポジウムについて
- ③ 仏教文化研究所兼任研究員の採用について
- ④ 仏教文化研究所ホームページの公開について
- ⑤ その他

二、報告事項

- ① 鶴見大学仏教文化研究所規程について
- ② 平成二十五年年度決算について
- ③ 『鶴見大学仏教文化研究所紀要』第二十号の刊行・配布について
- ④ 鶴見大学仏教文化研究所モノグラフィシリーズIの刊行・配布について
- ⑤ その他

【公開シンポジウム】

日時 平成二十六年六月十四日（土） 十三時三十分～十六時四十分

会場 大学会館地下一階メインホール

テーマ 「安らぎを求めて―仏教者の社会参加―」

講師・演題

釈 徹宗（相愛大学教授）「老病死の事例に学ぶ仏教」

新川泰道（ビハーク秋田代表）「ビハーク秋田の活動の展開と今後の課題」

金子 昭（天理大学おやさと研究所教授）「より添い「支縁」で人をつなぐ」

前田伸子（本学副学長）「終末期医療を支援する臨床宗教師の育成事業に関して」

（※公開シンポジウム記録は本紀要に掲載）

【第二回 運営委員会】

日時 平成二十六年七月十日（木） 十二時二十分～十二時五十五分

場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）

議題

一、審議事項

- ① 『鶴見大学仏教文化研究所紀要』（第二十号）の原稿募集、編集予定について
- ② 平成二十六年度仏教文化研究所図書購入の計画について
- ③ 競争的外部資金の申請について

- ④生涯学習セミナー第2クール「仏教文化の諸相…インドから日本へ」の開講について
- ⑤その他

二、報告事項

- ①平成二十六年年度公開シンポジウムの結果について
- ②その他

【第三回 運営委員会】

日時 平成二十六年十月三十日（木）十二時二十分～十二時五十分

場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）

議題

一、審議事項

- ①平成二十七年年度仏教文化研究所事業計画について
- ②平成二十七年年度仏教文化研究所予算について
- ③台湾仏光大学仏教研究センターによる受託研究の更新について
- ④その他

二、報告事項

- ①生涯学習セミナー「仏教文化の諸相…インドから日本へ」の実施状況について
- ②『鶴見大学仏教文化研究所紀要』（第二十号）編集の進捗状況について
- ③平成二十六年年度研究例会の開催について

- ④平成二十六年 度 仏教文化研究所 図書購入の進捗状況について
- ⑤その他

【研究例会】

日時 平成二十六年十二月十一日（木）十六時三十分～十八時

場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）

発表者 興津香織（兼任研究員）「江戸期の『金七十論』研究―『金七十論私記』の検討―」
尾崎正善（客員研究員）「峨山韶碩禪師の御遺徳―六五〇回大遠忌にむけて―」

【第四回 運営委員会】

日時 平成二十七年三月十二日（木）十二時二十分～十三時二十分

場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）

議題

一、審議事項

- ①平成二十七年 度 鶴見大学 仏教文化研究所 所員について
 - ②平成二十七年 度 公開シンポジウムのテーマ等について
 - ③その他
- 一、報告事項
- ① 仏教文化研究所 規程の改訂について

- ②平成二十七年予算について
- ③平成二十六年研究例会の結果について
- ④『鶴見大学仏教文化研究所紀要』（第二十号）刊行の進捗状況について
- ⑤『鶴見大学仏教文化研究所共同研究成果報告書』（発刊号）刊行の進捗状況について
- ⑥台湾仏光大学仏教研究センターによる受託研究の契約更新と活動について
- ⑦その他

平成二十六年 度

仏教文化研究所概要

〔所在地〕〒230―8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見二―一―三 鶴見大学内

TEL ○四五―五八一―一〇〇一 FAX ○四五―五八一―一三九一

〔所 長〕 伊藤 克子 本学学長(体育学)

〔主 任〕 下室 覚道 文学部准教授(宗教学)

〔特別顧問〕 木村 清孝 本学名誉教授(哲学)

〔専任研究員〕 池 麗梅 仏教文化研究所准教授(仏教学)

〔兼任研究員〕 石田 千尋 文学部教授(歴史学)

伊藤 正義 文学部教授(文化財学)

河野 真知郎 文学部教授(考古学)

小林 恭治 文学部教授(日本語学)

宗墓 秀明 文学部准教授(歴史学)

星野 玲子 文学部准教授(文化財科学)

小林 馨 歯学部教授(歯科放射線学)

前田 伸子 鶴見大学副学長・歯学部教授(細菌学)

橋本 弘道 短期大学部准教授(教育学)

山室 吉孝 短期大学部教授(哲学)

中川 光憲 附属中学・高等学校学長

- 小池 富雄 文学部教授（文化財科学）
緒方 啓介 文学部准教授（文化財科学）
永田 勝久 本学名誉教授（文化財科学）
佐藤 達全 短期大学部非常勤講師（仏教保育）
関根 透 本学名誉教授（倫理学）
斎藤 明 東京大学教授（印度哲学）
丘山 新 浄土真宗本願寺派総合研究所副所長（仏教学）
蓑輪 顕量 東京大学教授（仏教学）
高橋 晃一 東京大学特任研究員（仏教学）
古瀬 珠水 東京外国語大学非常勤講師（日本仏教）
池田 道浩 文学部・歯学部非常勤講師（仏教学）
矢島 道彦 駒澤大学特任教授（宗教学）
田口 暢穂 本学名誉教授（中国文学）
岩橋 春樹 大本山總持寺宝蔵館館長（美学・美術史）
興津 香織 国學院大学非常勤講師（宗教学）
室瀬 祐 本学文化財学専攻博士後期課程修了（文化財科学）
尾崎 正善 文学部・歯学部非常勤講師（宗教学）
納富 常天 元大本山總持寺宝物殿館長（宗教学）
柳澤 慧二 本学名誉教授（生理学）
- 〔客員研究員〕
〔顧問〕

鶴見大学仏教文化研究所規程

(設置)

第1条 鶴見大学(鶴見大学短期大学部を含む。以下「本学」という。)に、鶴見大学仏教文化研究所(以下「研究所」という。)を置く。

(目的)

第2条 研究所は、本学の建学の精神に則り、日本における仏教の思想・文化・芸術及びその関連領域に関する研究を推進すると共に、国際的学術交流を積極的に行い、学術の発展に寄与することを目的とする。

(研究内容等)

第3条 研究所は、前条の目的を達成するために次のことを行う。

(1) 宗教学等の教授内容としての諸宗教の比較、仏教教理、曹洞宗学(特に總持寺教学)及び日本文化に及ぼした仏教の研究等の基本的研究

(2) 本学における建学の精神の具現化及びその方法等の研究

(3) 鶴見大学大学院文学研究科との共同研究及び他の研究機関との学際的研究

(4) 研究会、講演会及び公開講座等の開催

(5) 研究所の調査及び研究の成果並びに共同研究の成果、講演等の発表のための紀要類の刊行

(6) その他研究所の目的を達成するために必要と認める研究等

(研究部門)

第4条 研究所に、次の3研究部門を置く。

(1) 仏教学研究部門

(2) 仏教教育研究部門

(3) 仏教文化財研究部門

(所長)

第5条 研究所の所長は、鶴見大学学長の併任とする。

(主任)

第6条 研究所の主任は、研究所の所員のうちから、所長が委嘱する。

(所員)

第7条 研究所に、次の所員を置く。

(1) 専任研究員

(2) 兼任研究員

(3) 客員研究員

(4) 特別顧問

(5) 顧問

(専任研究員)

その目的に準じて、専ら調査及び研究に従事する者をいう。

2 専任研究員の任用については、別に定める。

(兼任研究員)

第8条 兼任研究員は、研究所の活動に参加する次の者をいい、運営委員会の承認を経て、所長が委嘱する。

(1) 本学専任教員

(2) 本学専任教員以外の者

- 2 前項第2号に掲げる者の任期は1年とし、更新することができるものとする。
- 3 兼任研究員には、給与は支給しない。

(客員研究員)

- 第9条 客員研究員は、本学専任教員以外の者で、一定期間研究所に所属して、調査及び研究に従事する者をいう。
- 2 客員研究員は、所長が候補者を推薦し、運営委員会の承認を経て、所長が委嘱する。
- 3 客員研究員の処遇等については、別に定める。

(特別顧問)

第10条 特別顧問は、本学専任教員以外の者で、研究所の企画・運営に関する重要事項の審議に加わり、その活動を援助するとともに、調査及び研究に参画する者をいう。

- 2 特別顧問は、所長の要請に基づき、学長が任命する。
- 3 特別顧問の任期は1年とし、更新することができるものとする。
- 4 特別顧問の給与については、別に定める。

(顧問)

第11条 研究所に、必要な助言を与え事業の円滑な運営を図るため、若干人の顧問を置く。

- 2 顧問には、給与は支給しない。

(職員)

第12条 研究所の職員(教員を除く。以下この項において同じ。)は、専任のほか、本学の専任の職員の中から所長が委嘱する。

(運営委員会)

第13条 研究所に、第3条に定める研究内容等の企画、運営のため、運営委員会を置く。

2 運営委員会は、所長及び所長が委嘱する運営委員をもって構成する。

3 運営委員の任期は1年とし、更新することができる。

(経費)

第14条 研究所の経費は、本学の年間研究費予算及び寄附金等をもってこれに充てる。

(事務の所管)

第15条 この規程に関する事務は、研究所事務室が所管する。

(規程の改廃)

第16条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て、行うものとする。

附則

この規程は、平成7年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成11年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成22年4月1日から施行する。

附則

この改正規程は、平成26年4月1日から施行する。

鶴見大学仏教文化研究所専任研究員任用規程

(目的)

第一条 この規程は、鶴見大学仏教文化研究所規程第八条により鶴見大学仏教文化研究所（以下「研究所」という。）における専任研究員の任用に関する必要な事項を定めることを目的とする。

(職位)

第二条 専任研究員の職位は、教授、准教授、講師及び助教とする。

二 教授とすることができる者は、次の各号のいずれかを満たすことを必要とする。

(一) 大学教授としての経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

(二) 准教授として相応な経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

三 准教授とすることができる者は、次の各号のいずれかを満たすことを必要とする。

(一) 大学教授としての経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

(二) 講師として相応な経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

(三) 前各号の該当者と同等以上の学識・経歴・業績があると認められるもので、博士の学位を有するもの。

四 講師とすることができる者は、次の各号のいずれかを満たすことを必要とする。

(一) 前各号の該当者と同等以上の学識・経歴・業績があると認められるもので、修士の学位を有するもの。

(二) 大学講師としての経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

(三) 助教として相応な経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

五 助教となることができる者は、次の各号のいずれかを満たすことを必要とする。

(一) 修士の学位を有し、研究上の業績を有するもの。

(二) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められるもの。

(選考結果の上申)

第三条 専任研究員の選考は、一般公募とし、運営委員会の議を経て、研究所長が当該候補者を学長に上申する。

二 なお選考方法は、書類選考及び面接とする。

(申請)

第四条 専任研究員を希望する研究者は、原則として次に掲げる書類をもって研究所に申請するものとする。

(一) 履歴書

(二) 研究業績一覧

(三) 著書・論文

(四) その他選考に必要な書類

(職務)

第五条 専任研究員は、鶴見大学仏教文化研究所規程第三条（研究内容等）に定める研究・調査活動、その他、研究所の活動に必要な業務を行うものとする。

(勤務・待遇等)

第六条 専任研究員の勤務・待遇等は、鶴見大学職員就業規則によるものとする。

(研究費)

第七条 専任研究員には、研究費を支給することがある。

二 支給額は別に定める。

(諸規程等の遵守)

第八条 専任研究員は、研究等に従事するに当たり、本学の諸規程等を遵守しなければならない。

(規程の改廃)

第九条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経た後、学長の承認を得て行うものとする。

附 則

この規程は、平成二十二年四月一日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成二十三年四月一日から施行する。

平成二十五年 度 仏教文化研究所購入図書・資料

1. 一般図書

- 『高麗大藏經初刻本輯刊』(第一冊～第八一冊)、西南師範大學出版社、二〇一二年
 京都市立芸術大学石山寺調査団(編)『石山寺聖教目録』(二冊)、京都市立芸術大学石山寺調査団、一九七二年
 石山寺文化財総合調査団(編)『石山寺の研究』(一切経篇)、法蔵館、一九九二年
 大正大学総合佛教研究所金剛頂経研究会(編)『六卷本「金剛頂瑜伽中略出念誦法」の研究』、ノンブル、一九九九年
 長澤和俊(著)『法顕伝訳注解説・北宋本・南宋本・高麗大藏経本・石山寺本四種影印とその比較研究』、一九九六年雄山閣出版、一九九九年
 横山紘一(著)『唯識とは何か…「法相二巻抄」を読む』、春秋社、二〇一二年
 本多至成(著)『『雑玉蔵経』の研究』、永田文昌堂、二〇一二年
 中西智海先生喜寿記念文書刊行会編集『人間・歴史・仏教の研究…中西智海先生喜寿記念文書』、永田文昌堂、二〇一二年
 宮崎展昌(著)『阿闍世王経の研究―その編纂過程の解明を中心として』、インド学仏教学叢書編集委員会、二〇一二年
 佐藤成順(著)『宋代仏教史の研究』、山喜房佛書林、二〇一二年
 大野榮人・武藤明範(著)『天台次第禅門の研究』、山喜房佛書林、二〇一二年
 大野榮人・伊藤光壽(著)『天台法華玄義の研究』、山喜房佛書林、二〇一二年
 本山博(著)『死後の世界と魂土地の神々…魂はあるか』、宗教心理出版、二〇一一年
 胡建明(著)『圭峯宗密思想の総合的研究』、春秋社、二〇一二年
 末木文美士(著)『現代仏教論』、新潮社、二〇一二年
 大正大学浄土学研究会(編)『中国浄土教とその展開…金子寛哉先生頌寿記念論文集』、文化書院、二〇一二年
 日本佛教学会(編)『經典の成立と展開受容』、平樂寺書店、二〇一二年
 上山大峻(著)『敦煌佛教の研究』(増補)、法蔵館、二〇一二年
 能仁晃道(訓注)『大愚和尚語録・拾遺・行実』、禅文化研究所、二〇一二年
 成願寺誌編纂委員会(編)『中野長者の寺成願寺…開基鈴木九郎剃髮五百五十年記念』、多宝山成願寺、一九八八年
 石田充之(著)『法然上人門下の浄土教学の研究』、大東出版社、一九七九年
 『大本山永平寺道元禅師御一代記絵巻』、一九八四年天真会、二〇一二年
 末木文美士等(編)『栄西集』(中世禅籍叢刊、中世禅籍叢刊編輯委員会編、第一巻)臨川書店、二〇一三年

- 大竹晋(著)『元魏漢訳ウアスバンドウ釈経論群の研究』、大蔵出版、二〇一三年
 氣賀澤保規(編)『中国中世仏教石刻の研究』、勉誠出版、二〇一三年
 村上真完・及川真介(訳註)『仏弟子達のことば註・パラマッタ・ディーパニー』、春秋社、二〇一三年
 松本史朗(著)『仏教思想論(下)』、大蔵出版、二〇一三年
 榎本涉(著)『南宋・元代日中渡航僧伝記集成…附江戸時代における僧伝集積過程の研究』、勉誠出版、二〇一三年
 『鎌倉遺文』(補遺編・東寺文書第二巻)、東京堂出版、二〇一二年
 『南北朝遺文』(東北編第二巻)、東京堂出版、二〇一二年
 『続天台宗全書』法華玄義伊賀抄(下)、春秋社、二〇一二年
 『曹洞宗大本山總持寺能登祖院古文書目録』、日本近代仏教史研究会、二〇〇五年
 松田福一郎(編)『不空菴常住古鈔舊槧録』、大塚巧芸社、一九四三年
 袴谷憲昭(著)『仏教文献研究』、大蔵出版、二〇一三年
 齊藤隆信(著)『漢語仏典における偈の研究』、法蔵館、二〇一三年
 大澤聖寛(著)『空海思想の研究』、山喜房佛書林、二〇一三年
 藤善眞澄(著)『中国佛教史研究…隋唐佛教への視角』、法蔵館、二〇一三年
 伊藤瑞叡(著)『華嚴菩薩道の基礎的研究』(増補)、国書刊行会、二〇一三年
 『東洋の慈悲と智慧…多田孝文名誉教授古稀記念論文集』、山喜房佛書林、二〇一三年
 金希泰(著)『中国宋代天台教学の研究…特に淨覚仁岳を中心として』、山喜房佛書林、二〇一三年
 戸川芳郎等(編)『中国文化史大事典』、大修館書店、二〇一三年
 大塚伸夫(著)『インド初期密教成立過程の研究』、春秋社、二〇一三年
 阿部泰郎(著)『中世日本の宗教テクスト体系』、名古屋大学出版会、二〇一三年
 森公章(著)『成尋と参天台五臺山記の研究』、吉川弘文館、二〇一三年
 『佛法僧論集』福原隆善先生古稀記念論集』、山喜房佛書林、二〇一三年
 今村延雄(編)『大本山總持寺再建の話』、鴻盟社、一九〇七年
 小坂機融等(訳註)『清規・戒法・嗣書』、春秋社、二〇一三年
 平岡広高(編)『花月園辨天堂絵馬集』、花月園事務所、芸艸堂、一九二五年

The Nirvana Sutra (Mahāparinirvāṇa-Sūtra) (Taishō volume 12, number 374), translated from the Chinese by Mark L. Blum, Berkeley, Calif.: Bukkyō Dendō Kyōkai America.

Tiantai Iotus texts, Berkeley, Calif.: Bukkyō Dendō Kyōkai America.

The madhyama āgama (middle-length discourses) (Taishō volume 2, number 26), Marcus Bingenheimer, editor in chief, Berkeley, Calif.: Bukkyō Dendō Kyōkai America.

Expository commentary on the Vimālakīrti Sutra (Taishō volume 56, number 2186), translated from the Chinese by Jamie Hubbard, Berkeley, Calif.: Bukkyō Dendō Kyōkai America.

2. 参考図書

野中耕一(編訳)『ポー・オー・パユットー仏教辞典』、サンガ、二〇一二年

大野晋(編)『古典基礎語辞典』、角川学芸出版、二〇一一年

大谷哲夫(編著)『正法眼蔵』『永平広録』用語辞典』、大法輪閣、二〇一二年

3. その他の資料

『宮内庁正倉院事務所蔵聖語蔵経巻』(カラーデジタル版、第三期第二回配本)、丸善、二〇〇九年

『Sojiji temple』(絵はがき、一組一枚、九・一×一三・九糎)、大本山總持寺

『鶴見名所』曹洞宗總本山總持寺全景所在地裏より約五丁』(絵はがき、一組二枚、九×一四糎)、大本山總持寺

『大僧堂開單記念』大本山總持寺』(絵はがき、一組三枚、八・九×一四糎)、大本山總持寺

『鶴見』大本山總持寺』(絵はがき、一組十枚、九・一×一四糎)、大本山總持寺

『大本山總持寺』(絵はがき、一組五枚、九・一×一四糎)、大本山總持寺、一九二五年

『大本山總持寺』(絵はがき、一組十枚、九・一×一四・二糎)、大本山總持寺、一九三七年